

舗装を剥がす切削機に巻込まれ、両足・片腕切断！

— 非定常作業の前にKYを！ 危険感受性育成を！ —

☆ 平成20年10月19日午前1時半ころ、仙台市青葉区内の舗装工事現場で重傷事故が発生しました。

☆ 元請けは全国展開の東北支店、被災者所属の一次下請けは県内業者です。発注は国です。

☆ 被災者は舗装工（男、54歳）ですが、工事用機械に巻き込まれて重傷を負い、病院に搬送されましたが両足（いずれも膝関節の上）と右腕（肘関節の上）の切断となりました。

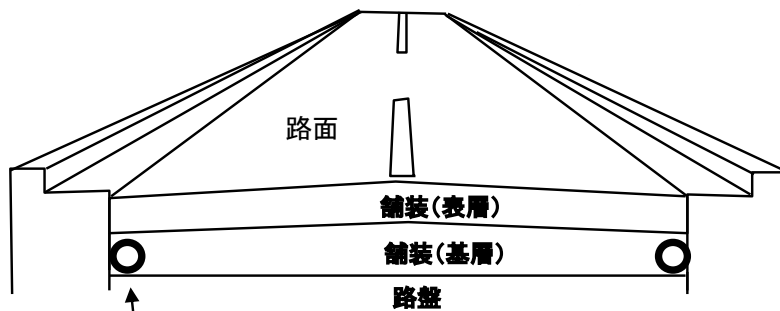
★ 舗装箇所の既存舗装を剥がすべく、路面切削機で切削中、路面に埋設されていた導水管が切削ドラムに絡みついたため、ドラムの回転を止め、ドラム脇の安全カバーを上げて、絡んだ線材を外しました。

外し終わったのでドラムの回転を確認してみようとして起動しました。起動に当たってはオペレーターが付近の者に機械から離れるよう指示し、全員それにしたがっておよそ1m位離れて待機していました。これを確認後、オペレーターはドラムを回転させたところ、まだドラムに線材が残っているのを発見した被災者が、突然、前へ踏み出すとともに当該線材を足で押し込もうとしました。このとき機械に巻き込まれたものです。

★ ドラムには切削用のツメ（長さ約8cm）がドラム周囲の全体にわたって備わっています。

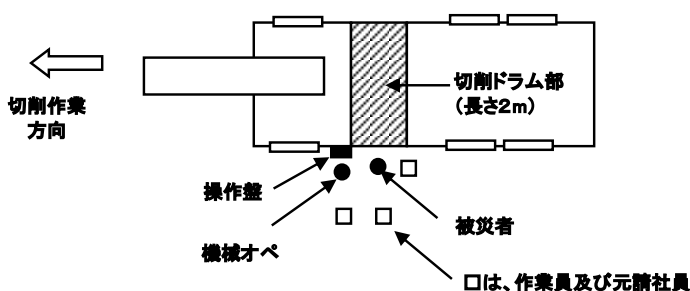
○ 労働者の作業行動を主原因とする本件については、決め手となる対策をとるには困難も予想されます。少なくとも、非定常作業の前にはKYをして危険性を知らせること、日ごろから感受性を研ぎ澄ますことが必要と思われます。

一般的な舗装道路と導水管



・導水管の径=25mm
・導水管とは、舗装面から浸透した雨水を集めて集水桝まで送る管です。本現場には、コイルスプリング状の管が埋設されていました。したがって、引っ張ると一本の針金状の線となります。(右下)

路面切削機(全長10m)



切削機とツメ
(写真は同型機のHPから転用)



ドラム収納箇所(カバーつき)

ドラムについているツメ



導水管の一部(例)

